

平成 24 年度科学技術戦略推進費概算要求方針

平成 23 年 9 月 29 日
総合科学技術会議

1. 基本的考え方

平成 24 年度の科学技術戦略推進費（以下「推進費」という。）については、「第 4 期科学技術基本計画（平成 23 年 8 月 19 日閣議決定）」、「科学技術に関する予算等の資源配分方針（平成 23 年 7 月 29 日総合科学技術会議決定）」等に沿って活用する。

また、総合科学技術会議として科学技術重要施策アクションプランを策定することにより、予算編成プロセスの改革を進め資源配分の重点化を図ることとしているが、この取組の強化に推進費を活用し、府省連携をさらに推進する。

推進費は、総合科学技術会議が科学技術政策の司令塔機能を発揮し、各府省を牽引して自ら策定した科学技術イノベーション政策を戦略的に推進するために不可欠な手段として平成 23 年度予算において新たに創設されたものである。このため、推進費は、総合科学技術会議が各府省の施策を俯瞰し、それを踏まえて立案する政策を実施するために必要な施策に活用することとし、その運用においても、総合科学技術会議が強いリーダーシップを発揮していくこととする。

2. 重要政策課題への戦略的対応等

総合科学技術会議が科学技術政策の司令塔機能を発揮し、科学技術イノベーション政策を戦略的に推進する上での重要政策課題、予算編成過程では想定されなかった科学技術イノベーションを巡る状況の変化や、自然災害等を踏まえて迅速に対応する必要がある重要政策課題に機動的に対応するためのプログラム及び総合科学技術会議における政策立案のための調査を実施する。

3. 既設プログラムの着実な推進

（1）既設プログラムにおいて新たにプロジェクトを設定するもの

新規プロジェクトを設定するプログラム・サブプログラムは下記のとおりとし、所要額を確保し、プロジェクトの効率的、効果的推進を図る。

（ア）社会システム改革と研究開発の一体的推進プログラム

- ・（サブプログラム）気候変動に対応した新たな社会の創出に向けた社会システムの改革プログラム

（イ）科学技術国際戦略推進プログラム

- ・（サブプログラム）途上国におけるイノベーションを促進する国際協力の戦略的推進
- ・（サブプログラム）科学技術外交の展開に資する国際政策対話の促進

(2) 既設プログラムにおいて継続してプロジェクトを実施するもの

平成 24 年度に新規プロジェクトを設定しない以下のプログラムも含め、採択済みの継続プロジェクトを実施するプログラムについては、プロジェクトの中間評価や進捗状況を踏まえつつ所要額を確保し、プロジェクトの効果的・効率的推進を図る。

また、実施プロジェクトの評価等に必要な経費の確保を図る。

○社会システム改革と研究開発の一体的推進プログラム

- ・ 地域社会における危機管理システム改革プログラム（自然災害への対応）
- ・ 地域社会における危機管理システム改革プログラム（各種感染症への対応）
- ・ ゲノム情報と電子化医療情報等の統合によるゲノムコホート研究の推進
- ・ 安全・安心な社会のための犯罪・テロ対策技術等を実用化するプログラム
- ・ 健康研究成果の実用化のための研究・開発システム関連の隘路解消を支援するプログラム

○地域再生人材創出拠点の形成

○アジア・アフリカ科学技術協力の戦略的推進

- ・ 戦略的環境リーダー育成拠点形成
- ・ 国際共同研究の推進

4. 推進費の戦略的・効果的な運用に向けて

推進費の運用において、総合科学技術会議が強いリーダーシップを発揮していくため、実施ワーキンググループ等を活用し、プログラムの実施段階において強力な進捗管理等を行う。

さらに、以下の点に留意し、推進費の効果的な運用を図るものとする。

- ① 運用の弾力化や手続きの簡素化・合理化、資金の早期交付
- ② 実施プロジェクト等の審査などに係る事務の効率化、合理化
- ③ 資金配分の不合理な重複や資金の過度の集中の排除